

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 5 年 9 月 28 日(2023.9.28)

【公開番号】特開 2022-181316(P2022-181316A)

【公開日】令和 4 年 12 月 8 日(2022.12.8)

【年通号数】公開公報(特許)2022-226

【出願番号】特願 2021-88198(P2021-88198)

【国際特許分類】

H 0 1 R 12/61(2011.01)

H 0 1 R 13/516(2006.01)

H 0 1 R 13/627(2006.01)

【F I】

H 0 1 R 12/61

H 0 1 R 13/516

H 0 1 R 13/627

10

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 9 月 20 日(2023.9.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

第 1 フレキシブルケーブル 40 の前端部には、左右一対の第 1 接続端部 41 が形成されている。幅方向における一対の第 1 接続端部 41 の形成範囲は、第 1 ハウジング 27 の幅方向両端から切欠部 33 までの間の領域のみ、換言すると、第 1 ハウジング 27 の全幅範囲のうち切欠部 33 を除いた領域のみである。幅方向における一対の第 1 接続端部 41 の形成範囲と、一対の第 1 端子収容部 28 の形成範囲は、同じ領域である。第 1 接続端部 41 の前端部には、幅方向に所定ピッチで並列配置された複数の第 1 端子金具 39 がリフロ一処理によって導通可能に溶接されている。複数の第 1 端子金具 39 は、第 1 端子収容部 28 の後方から複数の第 1 端子収容室 29 に個別に挿入されている。

20

30

40

50